



### 第36回キリスト者のつどい・オフショールツアー

## ルーマニア・マラムレシュ地方を訪ねる旅

せっかく東欧ルーマニアまで足を延ばしたのですから、是非ともルーマニアらしさを味わって頂きたいと主催者の川井勝太郎宣教師の願いもあり、クルージュから北へ160km、伝統と歴史の残るルーマニアの田舎、マラムレシュ地方をご案内できる機会を感謝です。独特の叙情も良いのですが、正教からプロテスタントまでキリスト教の歴史をたどる旅にもなっています。今回のつどいテーマにも出て来た、共産党時代のルーマニアを垣間見るメモリアル迫害記念館も組まれています。観光定番の陽気な墓、シュルデシティの木造教会などユネスコの世界遺産にも登録されている見どころを、少々駆け足かも知れませんが、良い旅を皆さんと共に楽しく見つめつつ歩きましょう。

### 行程

7月28日(日) 13:30 出発 つどい終了後、会場であるグランドナポカホテルからバスに乗ってマラムレシュ県の中心都市、バイアマーレへ向かいます。

17:00~19:00 バイアマーレ・ビルインツァバプテスト教会にて夕拝



バイアマーレ到着後、地元の教会の方々との交わりも兼ねて、夜の集会を共に過ごすことになりました。証し、賛美、説教等、日本の方々に奉仕して頂きますので、素晴らしい交流の時となるでしょう。現時点で、つどいで証しをして下さった中井美鈴姉の証しと、教職の吉田隆先生に日本について祈りの課題を上げながらご奉仕頂こうと思っています。参加者の方々の中で賛美・挨拶をしたいと言う方がおられたら、歓迎です。集会后教会員の方々が交わり愛さん会を企画して、食事も用意して下さっているそうです。

集会后、ホテルマラにて宿泊、ゆっくりお休みください。

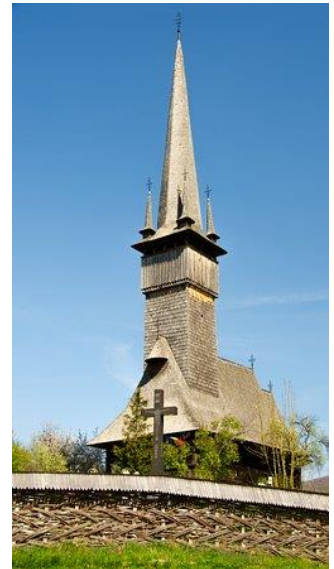
7月29日(月)

8:30 ホテル出発

9:00~9:45 シュルデシティ村の木造教会を見学

### シュルデシティ村の教会

バヤマレ市から18km。グレコカトリック教会で正式名称は聖アルハンゲルとガブリエル教会 (Biserica Greco-Catolică Sfinții Arhangheli Mihail și Gavril) 欧州の木の教会の中で、最も高い標高にある教会です。大聖堂ではありませんが、そのような感じがする傑作だといわれています。1721~1724年に完成。建物の高さは54mです。内部には布地に描かれた絵が木の壁面に掲げられています。構造を支える棟木には太い樫の丸太を使用。長さ16mのベランダや二重式屋根が面白く、尖塔の下部の小さな4つの塔がなんともユニークです。



10:00~10:45 移動

10:45~11:20 ブデシティ村の教会を見学

### ブデシティ村の教会



シゲット・マルマツィエイ市から26km。バヤマレ市から44km。この教会の正式名称は聖ニコラス教会。1643年に完成。ほかの教会よりもやや大きく、長さ18m、幅8mの堂々たる木の教会です。教会内部と外観の木彫りの装飾がとりわけ美しく、木にもガラスにもイコンが描かれています。「プラズニカレ」というイコンは、両面に絵が描かれています。そびえ立つ尖塔の下部に大きな鐘が吊られ、毎週日曜日、鐘の音が村中に響き渡り、今でも村びとに祈りの時を告げます。

11:30~12:15 移動

12:20~13:45 ブルサナ修道院見学 と 食事

### ブルサナ修道院

シゲット・マルマツィエイ市から17km、バヤマレ市から55km。この教会は1720年に建て始められましたが、現在の姿が完成したのは1800年。二重の構造が特徴です。聖壇には当時の絵が残っています。当時の有名画家が描かれたものと伝えられ、現在も見学できます。面白いことに、教会建設の途中段階から、神父たちの住居が教会の周辺部に建てられたため、今日では教会プラス住居の複合記念物として知られています。



お昼ご飯はこちらの食堂でルーマニアの伝統料理を頂きます。サルマーレ(ロールキャベツ)とママリガ(コーンミール)、スープ

13:55~14:30 移動

14:30~16:40 **迫害博物館メモリアル**を見学

共産党時代に強制収容所になっていた建物を取り壊さずに、市民フォーラムが迫害と弾圧の記録を風化させない為に博物館として運営するようになった珍しい博物館。

共産主義時代の説明や展示、収容されていた政治犯や宗教家、思想犯などの活動やどのように拷問されたかなど、色々な資料が独房の部屋ごとに展示されている。冷戦時代を偲ぶ事の出来る貴重な資料館である。



16:50~17:30 移動

17:30~18:20 陽気な墓見学

### 陽気な墓(Merry Cemetery)



サブンツァ村 (Sapanta) には「陽気な墓」と呼ばれる有名な観光名所があります。1935年に木彫り職人の青年スタン・イオン・パトラッシュ氏が、墓に眠る故人の生前の生活や職業、趣味などを墓標に刻み、カラフルに彩色したのが始りです。墓標の中には亡くなった経緯について刻まれてる物もあり、ギョッとする場面も。しかしパトラッシュ氏の愛する者を失った悲しみを乗り越え、その傷が癒える事を願い作られたこの陽気な墓は、彼が没した今でも弟子たちに引き継がれています。



18:30~19:30 移動

19:30~21:00 食事 **パストラバリエ・アレックス**にて



マラムレシュで有名な川魚の店といえば、ここアレックスです。自然の中で自家養殖したマスを伝統的な製法で調理した、逸品。山小屋風の食堂も大変良い雰囲気、旅の良い思い出になる事でしょう。おいしい料理を楽しい仲間と一緒に、忙しい日の最後に、ゆっくりとした時間をお過ごしください。

21:00~21:45 移動

22:00 ホテル到着

忙しい観光の一日の疲れを癒し、ホテルマラにてゆっくりお休み下さい。



7月30日(火)

9:00 出発

11:30 デジ到着 デジの街を散策、観光します。

### 改革派教会

15世紀に建てられたハンガリー改革派教会が街のランドマークになっている。1550年には教会として使用されていた記録があり、初期にはルター派として、その後カルバン派教会の名称で1568年には一時期ユニテリアン教会としても使用された。石造りのゴシック様式で高さ73m、16世紀に壁が補強されたが、1880年代の修復で撤去された。教会内の内装品でもひととき注目する物は彫刻家、デイビッド・シポスによるルネッサンス様式の花模様の講壇と聖餐式の為のテーブルが有名である。



### 市立博物館



1925年に市が始めた小さな博物館で、石器時代から中世、近代にいたるまで、デジの歴史を非常に判りやすく説明している。近郊オクナ・デジの塩抗跡で使用された数々の工具などの他に、世界で一番小さな紙幣(通貨として)が展示されている。

### レムヌルベルテ Lemnul Verdeにて昼食

1862年にお菓子屋として始まった、デジの老舗。

現在はレストランも経営する。町の看板企業にもなる程有名なお店。店の看板メニューであるミックスグリルのランチと、ラダウツ風チキンか牛肉の田舎風のスープを召し上がって頂きます。



15:00 デジ出発 》》 16:00 クルージュ空港到着予定 》》 16:45 市内グランドナポカホテル到着予定



### 宿泊使用ホテル(28日、29日)



### ホテル・マラ(バイアマーレ市)

バイアマーレで一番大きな客室数を誇る、老舗のホテル。近年ウェルネスなどの施設に力を入れて、マラムレシュ観光の定番宿として多くの旅行者に親しまれている。3つ星ホテル。

<http://www.hotelmara.ro/ro>



記載した時間等は、目安となるもので  
道路状況、見学時間の長短で変わって来ます。  
厳守する物ではありませんのでご了承ください。

参加費用                    一人 280€ (ホテルシングル使用)                    250€ (ホテルダブル/ツイン使用)

参加費用に含まれるもの

- \* ホテルマラの 2 泊宿泊費、朝食込み。
- \* クルージュからの交通費全工程とそれにかかる保険料。
- \* 全ての施設の入場料 (シュルデシティ、ブデシティ、ブルサナの博物館、メモリアル、陽気な墓、デジ)  
(写真やビデオ撮影に関する料金が発生することがあります。その場合は個人でお支払いください。)
- \* ブルサナ修道院食堂 (29 日昼) パストラバリエ・アレックス (29 日夕) レムヌルベルデ (30 日昼) 食費。  
(ただし、食費に関して、特別な飲み物などの注文は個人費用でお願いすることがあります。)

参加費用は、大会開始時に受付で現金にてお支払いください。

- ➡バス 2 台での移動になりますが、小さなバスに乗る人を指定する場合があります。
- ➡マラムレシュの気温は朝夕少々冷え込むことがあります。寒くなった時の為に上着等準備下さい。
- ➡教会の見学に関して、肌の露出の高い服などは敬遠される場合がありますのでご注意ください。
- ➡車酔いなどの為の薬が必要な方は、各自でご持参いただきます様に、お願いします。

詳しい事は、大会中に川井勝太郎宣教師までお問合せくださいませ。

それでは、クルージュの会場でお会いできるのを楽しみに。